

むらたまち 議会だより



わーい夏だ!いっぱい遊ぼうね(村田保育所)

● 令和6年第3回定例会 … 2

● ズバリ!町政を問う【一般質問 4人】 … 5

● 常任委員会リポート … 10 他

Vol.141
2024.8.1.

一般会計補正予算 2億766万円を追加

令和6年第3回村田町議会定例会は、6月11日から12日までの2日間にわたり開催されました。この定例会では令和6年度村田町一般会計補正予算1件、専決事項の承認8件、条例の一部改正2件、規約の一部変更1件、同意1件、報告2件の16案件が提出されました。一般質問は4人の議員が町の考えや対応について質しました。

生涯学習課 公民館費

6300万円

沼辺地区公民館 耐震化事業

3800万円を追加

工事内容

公民館の基礎部分の土台及び柱部分にシロアリによる被害が確認されたので土台及び柱の部分の一部を置き換えるもの。

地区公民館トイレ改修工事 (西足立、東足立、小泉、姥ヶ懐)

2500万円を追加

地区公民館のトイレを水洗化するもの。

健康福祉課 予防費

コロナワクチン接種補助

1419万円を追加

自己負担額 3000円

基礎疾患等を有する
65歳以上高齢者に対して
費用の一部を補助
するもの。



A

国からの接種に関する補助の情報は入っていない。接種はできるが、全額自己負担となる。

Q

コロナワクチン接種、65歳以上の方々は、国と町の補助で自己負担は3000円となるが、59歳以下の方々には、国・県からの補助情報は無いのか。

A

各地区公民館4カ所、(小泉・西足立・東足立・姥ヶ懐)トイレの水洗化2500万円、沼辺公民館の耐震化3800万円、合わせて6300万円となる。

Q

公民館費6300万円増額されたが、新たな工事請負費なのか。

A

歳入財源として緊急防災・減災事業債(充当率100%、交付税措置率70%)で、一般財源負担は0円である。

Q

沼辺地区公民館改修費3800万円、一般財源負担額0円となっているが、町の負担は。

■議案第31号令和6年度村田町一般会計補正予算(第2号)

6月定例会議案
質疑応答
(抜粋)

宮城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

賛成多数で可決

9:2

「2被保険者証及び資格証明書の引渡し」を「2資格証明書等の引渡し」に「3被保険者証及び資格証明書の返還の受付」を「3資格確認書等の返還の受付」にあらためて、令和6年12月2日から施行する。

※反対討論



高橋勝議員

健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化は、全世代にとつての大問題となっていますが、75歳以上の高齢者にとっては、文字通り死活的な問題となっています。病気になるかや早く治療に時間がかかる高齢者にとって、保険証は命綱です。全国高齢者医療広域連合協議会は国への要望書は健康保険証の廃止とマイナンバーカードと一体化

にあたっては、被保険者・医療機関等・保険者の懸案事項を十分把握・検討すること、すべての被保険者が安心して受診できるよう責任もって制度設計を行うこと、マイナンバーカードを取得しない人への対応方法を早期に示すとともに、未取得者に混乱が生じないように配慮することなどを要求しています。すべての被保険者が安心して受診一番の道は、従来の保険証を存続させることであり、改正案には反対する。

※賛成討論



山家大議員

法律等の改正で紙の保険証が廃止することに伴い、宮城県後期高齢者医療広域連合規約の一部に変更が必要になった

ことからこれを構成している市町村議会の議決をもとめるものであります。

現行の被保険者証に変わる資格確認証の発行事務については、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う事務処理の変更であつて規約の変更の妥当性を判断する余地は無いものと理解するものです。

また、他の構成市町でも同様に行われるものであり、この度の規約の一部を変更する事は事務を行う上で必要なものと解釈しています。

マイナ保険証は、カードリーダーを利用することで過去のデータに基づくより良い医療ができると言われております。減額認定証や高額療養費など申請のため役場へ出向き申請書の提出が不要になるなど様々なメリットがあります。

資格確認証はマイナ保険証を保有していない方に交付されるもので、これにより引き続き医療を受けることができるため賛成いたします。

【意見が分かれた議案の賛否一覧】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
議案	加藤喜太郎	山家寛二	大久保廣信	山家大	鈴木宏	鈴木正信	菊地睦夫	大沼吉隆	高橋勝	村上登	太田初美	遠藤実	議決結果 (賛成：反対)
議案第33号 宮城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	議	可決 (9：2)

※表決の区分 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

議：議長は採決に加わらない

令和6年第3回 定例会の議案と採決結果

議 案 名	採決結果
専決処分事項の報告承認	
■承認第1号 令和5年度村田町一般会計補正予算（第10号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ2186万1千円を追加するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第2号 令和5年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ5626万6千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第3号 令和5年度村田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ31万8千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第4号 令和5年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ753万3千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第5号 令和5年度村田町宅地造成事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ684万5千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第6号 村田町町税条例の一部を改正する条例 地方税法の改正に伴うもの	承認 賛成11：反対0
■承認第7号 村田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 地方税法の改正に伴うもの	承認 賛成11：反対0
■承認第8号 地域活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例 固定資産税の一部改正による村田町税条例の一部改正	承認 賛成11：反対0
条例（一部改正）	
■議案第29号 村田町情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決 賛成11：反対0
■議案第30号 村田町非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 賛成11：反対0
補正予算	
■議案第31号 令和6年度村田町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億765万6千円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第32号 令和6年度村田町上水道事業会計補正予算（第1号） 収益的収入及び支出の予定額を4203万2千円に改めるもの	原案可決 賛成11：反対0
規約変更	
■議案第33号 宮城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原案可決 賛成9：反対2
人事	
■同意第4号 村田町固定資産評価員の選任に同意を求めることについて 氏名 高橋 博行（大字村田）	同意 賛成11：反対0
報告	
■報告第4号 繰越明許費繰越計算書について [令和5年度村田町一般会計]	—
■報告第5号 令和5年度村田町下水道事業会計予算繰越計算書について [建設改良費繰越]	—



● 高橋 勝 議員 (6ページ)

1.城山公園の利活用について

● 加藤 喜太郎 議員 (7ページ)

1.宅地造成事業の今後は

● 山家 大 議員 (8ページ)

1.学校統合による更に良い教育環境の実現に向けて

● 村上 登 議員 (9ページ)

1.地域の活性化対策について

2.みやぎ県南中核病院附属村田診療所跡地の利活用について

一般質問とは？

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

城山公園の利活用について



たかはし まさる
高橋 勝 議員

質問1

道の駅村田に隣接し、村田町の中心に位置する城山公園は、「道の駅村田」には年間約25万人以上が来場されているが、公園を訪れる方は限られた方と聞いている。

特に城山公園は散策コースを中心に造られ、公園内の彫刻を鑑賞しながら散策できると理解している。

魅力ある公園に年間を通して町内外の方に楽しんでいただきたいと考えている。



城山公園入口案内看板



城山公園内入口

城山公園は「道の駅」や「歴史みらい館」と隣接し、公園に足を運んでいただき、町を見渡ししながら町内の散策や食事などをしていただくきっかけになれば町の振興に寄与すると考える。

町長答弁

「城山公園」については、休憩や散策・運動等、総合的な利用や、良好な都市景

観の形成、緑化の推進による温暖化防止・都市環境の改善、震災・大火などから避難者の生命を保護するなどの防災機能の向上、生物多様性の確保、豊かな地域づくりに資する交流空間など、多様な機能を有する根幹的な都市施設である。

城山公園利活用については「宮城オルレ村田コース」の一部を構成し、「道の駅」・「歴史みらい館」

を結ぶ、連絡通路や案内板を整備し、町内外から日々、利活用されている。

「道の駅村田」「歴史みらい館」の運営形態及び利用者や地域の皆さんの声を聞きながら都市公園としての設置目的・持続性を勘案し、誰もが足を運んでいただけの魅力ある公園となるよう、管理、運営に努めていく。

追質問

城山公園を利用して民間の力を借りながらイベントなどの計画などあるのかどうか。

建設水道課長答弁

今後、地域の皆さんの声や、道の駅・歴史みらい館の来場者などの声や、民間の力も選択肢に入れながら関係者と検討していきたい。

追質問

村田オルレコースに広場を活用しては。

建設水道課長答弁

皆さんの声を聴きながらイベントなど検討していきたい。



城山公園内広場



かとう きたろう
加藤喜太郎 議員

宅地造成事業の 今後は

質問

サンライズ石生宅地分譲は一期二期とも好評であり、宅地造成事業は成功し、公共施設跡地利用のよい活用例になったと評価できます。

転入世帯や子育て世帯が新たに住宅を建設しており、移住定住者の転入に伴い子供の数も増え、人口減少の抑制に貢献しています。サンライズ石生の実績を踏まえ、次の宅地造成事業でも同様の効果が期待されると考えます。

そこで、町有地を含む宅地造成事業について、今後新たな計画はあるのか伺います。

町長答弁

第一期分に販売した13区画は完売で、7区画が転入世帯、5区画が子育て世帯の転入世帯、1区画は町内からの子育て世帯であり、第二期分に販売した7

区画については、現在までに5区画が売却済みとなり人口減少にも効果的な事業となっております。

そこで質問についてですが、現在進めております都市計画マスタープラン及び用途地域の見直し、農業振興地域の見直し作業を行っていることから、今後の村田町の「まちづくり」を検証し、町にとってメリットとなる総合的な計画を検討し、将来的な土地利用に繋がる施策の展開が重要であると考えております。

そのことから、中長期的な振興発展に繋がる見通しを図り、売り払い処分等も含めた利活用について、検討してまいりますのでご理解願います。

追質問

サンライズ石生は、石生住宅だったところを宅地造成し販売となったわけですが、同じように現在更地になっている金谷住宅跡地は宅地造成販売はできないものか。

財政課長答弁

金谷住宅跡地に限らず、中長期的に町有地の有効活用について、今後とも慎重に検討していきたいと思っています。



更地になっている金谷住宅跡地



第2期サンライズ石生住宅分譲地

追質問

中長期的構想にサンライズのような宅地分譲の計画は含まれているという点でよいのか。

財政課長答弁

宅地造成事業、企業誘致なども含め検討していく。

教育環境の 向上を目指した 学校統合を



やんべ 山 家 だい 議員

**Q、各校の特色、
統合後への反映は**

**A、特色を取り入れ
充実・発展に繋げる**

質問1

統合前の各校の特色、その評価と統合後への反映は。

教育長答弁

評価結果を踏まえて特色を取り入れた計画を立案する。

質問2

放課後プログラムを充実させる計画はあるか。

教育長答弁

小学校では放課後学習室の継続、中学校では隙間時間での学習の継続と、生徒主体の部活動指導体制を計画。

追質問

放課後学習室の開催数を増やす事は可能か。

教育総務課長答弁

今後決定する施設の規模も考慮し検討していく。

追質問

統合後の留守家庭児童学級では現状の移動と施設面積に改善が必要では。

子育て支援課長答弁

保護者の意見も踏まえて検討していく。

追質問

中学校の放課後プログラムにも英語やダンス活動などを取り入れては。

教育総務課長答弁

授業で実施しており放課後は考えていない。



幼稚園の延長保育では英語やダンスを実施

**Q、地域連携と
文化教育の計画は**

**A、地域教育力を生
かし推進していく**

質問

統合後も地域との連携維持や地域行事・伝統文化を学ぶ機会を提供する具体策はあるか。

教育長答弁

地域教育力を生かし、行事参加や歴史・伝統文化教育を推進するため、関係団体と調整していく。

追質問

文部科学省の方針による授業時数減少で地域連携学習が削減され地域との関係が希薄になるのでは。

教育総務課長答弁

地域との連携は統合後も継続したいと考えている。

**Q、廃校後の
学校施設活用は**

**A、統合施設の決定
後検討したい**

質問

統合により廃校となった学校施設の活用計画は。

教育長答弁

統合後の施設が決定していないため、現時点では計画なし。今後、活用計画を検討したい。

追質問

廃校施設運営に民間企業との連携も有効では。

教育総務課長答弁

地域コミュニティの拠点としての利活用も見据えて協議していく。



むらかみ のぼる
村上 登 議員

地域の活性化と 第二工業団地の造成について 旧村田診療所の利活用について

地域の活性化対策 について

質問

限界集落、準限界集落をこれ以上増やさないためにも今後、地域活性化をどのように進められるのか伺う。

町長答弁

本町が有する歴史や文化、自然などの地域資源を活かし住環境の整備や子育て支援の充実、雇用機会の創出を図り、地域内外の方々が観光イベント等を通して相互に交流を図り、交流人口の拡大や本町の認知度の向上に努め長期的な視野を持ち、移住・定住と地域活性化を一体的に捉えて、各施策を推進してまいります。

質問

第二工業団地の造成や地域開発など、人口減少を抑制するための対応策は。

町長答弁

第二工業団地の造成や民間企業による地域開発などはまさに有効な手立てと捉えており、昨年度から取り組んでいる都市計画マスタープランと用途指定の見直しや農業振興地域の見直しを図り、本町の強みである高速交通や交通の要衝である地の利を活かした、企業誘致に繋がる造成事業についても、同時平行的に調査、検討を進め、積極的に取り組みでまいります。

質問

旧みやぎ県南中核病院附属村田診療所の利活用について。



旧村田診療所正面玄関

町長答弁

この施設は、昭和60年に竣工し約40年が経過しています。

病院施設としての構造体となっており再利用可能な部分は1階から3階までとなっています。



旧村田診療所南側

今後どのような利用形態になるうとも現状のままで再利用は難しく、施設の改修が必要になります。財政運営上からの検証を加え、より効果的な再利用計画ができれば、議会に提示したいと思っています。

リポート

会計について (5月8日実施)

総務常任委員会

地方自治法では、予算執行機関と出納機関（会計機関）を分離し、前者を自治体の長が行い、後者は会計管理者が行うものとしている。

会計管理者は、法律またはこれに基づく政令に特別の定めがあるものを除くほか、当該普通地方公共団体の会計事務をつかさどる。村田町では公金の取扱いの効果的運営と安全性を図るため、議会の議決を経て仙南信用金庫を指定金融機関に指定し、公金の収納及び支払の事務を委託している。

○委員会所見

コンビニ納付やスマートフォン等を利用して税金を電子的に納付することができようになるなど、公金の収納方法は年々増えている。公金の収納及び支払の事務を委託している指定金融機関とは委託内容について

ては、今後検討する必要がある。

低金利状態ではあるが、公金を次の支払の資金として支出されるまでの間、安全で確実に、かつ有利な方法での保管・運用することが望まれる。

また、予算に基づいた各課の適切な支出の会計業務遂行が行われているか、法令、規則等に違反をしていないかなどを厳正に審査し、引き続き公金の取り扱いの適正化に努めていきたい。



上下水道事業について (5月7日実施)

産業建設常任委員会

■水道事業の概要

1. 上水道
村田町の水道事業は、大正12年12月に創設事業の認可を受け、昭和2年5月に竣工と共に給水を開始。

地形上から上水道と簡易水道の2つの事業で給水を行ってきたが、給水区域が隣接したことや水道料金の平準化、事務効率の向上などを図ることから、上水道に統合する第13次拡張事業を平成18年4月に実施し現在に至っている。

令和4年度
・給水人口 98,033人
・給水普及率 97.73%

2. 下水道

本町の下水道事業は、阿武隈川下流域域下水道事業（構成市町：仙台市・名取市・岩沼市・角田市・白石市・柴田町・大河原町・村田町・蔵王町・丸森町・亘理町の5市6町）の関連公共下水道として昭和51年度に基本計画を策定し、翌52年度より事業に着手して、平成元年度より供用を開始。

○委員会所見

本町の水道事業は、人口減少による料金収入の減少や水道施設の老朽化対策等により、経営環境が厳しくなることが見込まれており、水道事業の広域化は基盤強化のためにも有効な方策と言える。

宮城県の水道の目指すべき姿は、県水道ビジョンの「安全な水を、いつでも、いつまでも安心して受け取れる水道」としています。

また、大河原町との水道事業における安定的な水供給に向けた相互連携協力による協定や6市5町1企業団の取り組み衛生画像データを活用した漏水調査事業など、今後の諸問題解決のため、各自治体と広域的に取り組んでいきたい。



常任委員会

子育て支援について(5月10日実施)

教育民生常任委員会

■児童福祉

- 。子ども・子育て支援事業
- 。子ども医療費助成事業
- 。村田町子育て支援金
- 。児童手当
- 。児童扶養手当(県事業)
- 。特別児童扶養手当(県事業)
- 。子育て支援ゴミ袋支給事業
- 。親子ふれあいブックスタート事業
- 。第3子以降保育料等助成
- 。第3子以降小学校入学祝金支給

■児童福祉施設

- 。児童遊園の維持管理
- ・児童遊園5箇所
- ・ちびっこ広場12箇所
- 母子父子家庭の福祉
- 。母子・父子家庭医療費助成

■少子化対策の推進

- 。第2期村田町子ども・子育て支援事業計画の推進期間・令和2年度～6年度

こども家庭センターについて

令和6年4月開設。子育て世代包括支援センターと児童福祉を一体化し、妊娠期から子育て期を包括的に支援。

○委員会所見

18歳までの医療費助成、完全給食等保育サービスの拡充、留守家庭学級対象拡大、紙おむつ券、ごみ袋支給など、児童福祉への取り組みが評価できる。一方、人口減少を踏まえ財源を新たな支援策に充当することもある必要。児童遊園の廃止は地域不均衡を招き、設置基準の策定が求められる。証明書のコンビニ交付やスマートフォン申請未対応は改善が必要。学校給食無料化も進展を期待する。

こども家庭センター

母子保健

妊娠・出産・育児等に
関すること

児童福祉

児童虐待や貧困など、
こどもや家庭に
関すること

これまで別だった相談窓口が一体化。

令和6年度仙南・亶理地方町村議会 常任委員長研修会



令和6年7月11日・12日白石のホテルで約70名が参加し、東北大学准教授河村和徳氏の基調講演「町村議会議員のなり手不足問題を考える」を聴講、分科会では議会運営等についてワールドカフェ方式で実施しました。

白老町議会と栗山町議会との 議会改革研修報告



1日目 白老町議会との研修会



2日目 栗山町議会との研修会

7月3日から5日までの3日間、北海道の白老町議会と栗山町議会との議会改革研修会及び意見交換会をおこないました。

わたしの思い

村田町での3年間と今後の夢

村田ベース代表

河合 謙次 さん(菅生下)

早いもので私が村田町にきてから3年がたちました。3年前に村田町地域おこし協力隊に着任し今年の6月末で任期が終わりました。私が来た当初は新型コロナウイルスが猛威を振るいなかなか活動ができずにいたところ、田んぼや畑の作業、柿採り、炭作り、タケノコ掘り、山菜やキノコの採取など里暮らしのことをたくさん教えていただきました。任期中はそういった里山での体験イベントの開催や、町のイベントやお祭りのお手伝い、チラシやバッチの制作、メンマや特産品作り、カフェやマルシェの開催等々、色々と行ってきました。

薄木地区の山の奥にある竹林を管理させていただ



き、最初はタケノコが採れなかった竹林から大量に採れるようになった時は本当に嬉しかったです。今は菅生地区に muratabase という拠点を設け、そこでメンマなどのタケノコをつかった加工食品を販売しています。今後は商品数も増やし、発展していきたいです。

3年間本当にありがとうございました。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

次の定例会は 9月10日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<https://www.town.murata.miyagi.jp/>
コンテンツ「議会」から「議会中継」へ
アクセスしてください。

本会議の日程については、
町ホームページの「本会議開催予定表」で
詳しくお知らせしています。

議会を傍聴しませんか。
議会はどなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

暑中お見舞い 申し上げます



村田町議会議員一同

議員は、公職選挙法の規定により年賀状、季節の挨拶状などが規制されております。ご理解をお願いします。

編集後記

私たちは「読みやすい」を目指して、余白や写真、イラストを効果的に活用し、視覚に訴える紙面作りを心掛けています。特に、各ページを担当する委員が頭を悩ませるのが、「要約」です。限られた紙面で審議内容や結果を的確に伝える必要があります。

また、「親しみやすさ」も大切にしています。紙面には町民の皆様の声や活動を積極的に取り上げ、議会との距離を縮めることを目指しています。これからも、議会に興味を持っていただき、傍聴に来ていただける方が増えることを願っています。

議会広報編集特別委員会

委員 山家 大

発行・編集責任者
議長 遠藤 実
議会広報編集特別委員会
委員長 高橋 勝二
委員 長 山家 寛
副委員長 加藤 喜太郎
委員 員 大久保 廣信
委員 員 山家 大宏
委員 員 鈴木 正夫
委員 員 鈴木 睦
委員 員 菊地 登
委員 員 村上